

UR初のIoT機器を実装したURスマートホームが登場

～グリーンタウン小金井団地で3月1日から入居者を募集～

独立行政法人都市再生機構（以下、UR都市機構）は、グリーンタウン小金井団地（東京都小金井市）で、試験的にIoT機器を実装したURスマートホーム（リノベーション住宅）8戸にご入居いただく方を、3月1日から募集することをお知らせいたします。

UR都市機構は、IoT機器を活用した住まい方に対応できる賃貸住宅の供給を目指し、「Open Smart UR 研究会」※の入会企業の協力を得て、生活スタイルに合わせて簡単にIoT機器を設置できる住宅仕様の検討や予め設置すべきIoT機器等の検証を行うため、モデル住戸の整備を進めてきました。

今回、各種IoT機器に対するニーズや、利用される方の意見の把握、維持管理上の課題等の検証のため、整備したリノベーション住宅に入居、モニター協力いただける方を、次ページのとおり募集します。募集の詳細については、次ページに記載のリンクをご参照ください。

10カ月のモニター期間中にアンケート等を通じて得られた結果を検証することで、IoT機器を活用した多様な住まい方に対応するとともに、子育て世帯のみならず多くの世代の方々に新しい形の住宅を提供し、お客様に選ばれ続けるUR賃貸住宅を目指していきます。

※UR都市機構と東洋大学情報連携学部（以下、INIAD）は、技術協力の覚書を締結し、UR賃貸住宅にIoTやAI等を活用して様々な生活関連サービスを提供する「HaaS（Housing as a Service）」という新たな発想のもと、情報技術を活用した魅力的で安心な生活環境である「Open Smart UR」ビジョンを提案し、民間企業と連携する「Open Smart UR 研究会」を発足しています。



リノベーション住宅の一例



照明スイッチ

電動カーテンレール

アプリを使えば、カーテンの開閉・照明のオンオフは思いのまま。起床時間に合わせたり、「行ってきます!」の一言で操作ができます。 ※1

モニター付きインターホン

スマートロック

外出時、不意に子供が早く帰ってきて、玄関のインターホンからスマートフォンに繋がれば、会話できます。そのままスマートロックを解錠すれば、外で待たせることもありません。 ※2

※1 スマートスピーカーとの連携が必要です。

※2 専用アプリを使用します。

■募集の概要

募 集 団 地：グリーンタウン小金井（所在地：東京都小金井市緑町三丁目ほか）

団地情報：https://www.ur-net.go.jp/chintai/kanto/tokyo/20_6270.html

募 集 住 戸：1LDK～3LDK 計8戸（家賃：136,400円～169,100円）

内覧・申込期間：令和6年3月1日から令和6年3月4日

申 込 方 法：WEB申込（抽選）

条 件 そ の 他：入居者には、モニター対象のIoT機器（一部）とモニター期間中のインターネット接続サービスを無償提供いたします。入居期間中はURで実施するアンケートやヒアリング等にご協力いただきます。

詳細は、こちらを確認ください。

<https://www.ur-net.go.jp/chintai/information/2024/02/973.html>

（スマホ版）

<https://www.ur-net.go.jp/chintai/sp/information/2024/02/973.html>



■募集住戸の概要

今回、整備、募集する住戸には、スマートロックや、遠隔操作機能のついたモニター付きインターホン、エアコン、照明等を設置しており、外出先からもスマートフォンで操作可能です。また、スマートスピーカーとつなぐことで音声による操作もでき、操作性や利便性を向上させています。

※住戸により設置されている機器が異なる場合や、設置されていない機器があります。



スマートロック

IoT対応エアコン

IoT対応モニター付き
インターホン

IoT対応
給湯リモコン

スマートスピーカー
／室内カメラ

IoT対応モニター付き
インターホン玄関子機

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



【本件に関するお問い合わせ先】

UR都市機構

広報室 報道担当

住宅経営部 ストック活用計画課

古檜山・大西

入村・阿部

（電話）045-650-0887

（電話）045-650-0579